

プレ公示案件への質問回答

【競争参加者様へ：留意点】

プレ公示段階での質問回答での回答内容は、企画競争説明書／入札説明書の段階で変更の可能性があります。

2023年5月10日 更新

| 質問者記入欄    |  |                              |              |  |  |            |
|-----------|--|------------------------------|--------------|--|--|------------|
| 公示予定日     | 調達管理番号   | 案件名                          | 担当部・課        | 質問内容   | 回答   | 回答日        |
| 2023/5/17 | 23a00161000000   | フィリピン国コタバト市上水道改善計画準備調査（QCBS） | 地球環境部水資源グループ | 本件の事前調査「コタバト市上水道にかかる情報収集・確認調査」は23年5月頃までの調査かと存じますが、公示の際には当該案件の最終報告書をご提供いただけるのでしょうか。                                       | 「コタバト市上水道にかかる情報収集・確認調査」の最終報告書は現在取りまとめ中であるため、ドラフトファイナル版を提供させていただく予定です。  | 2023年5月10日 |
| 2023/5/24 | 23a00202   | バングデシュ国非感染症疾患対策強化プロジェクト      | 人間開発部保第二グループ | 本案件には本邦研修があるのでしょうか？  | 本邦研修は実施予定です。詳細は公示の際の企画競争説明書をご覧ください。  | 2023年5月10日 |
| 2023/6/7  | 23a00108000000<br>23a00109000000<br>23a00110000000<br>23a00111000000<br>23a00112000000 | 全世界2023年度案件別外部事後評価全パッケージ     | 評価部事業評価第一課   | 弊社コンサルタント個人Aが、JICA管理職として関与した案件Bを含む事後評価パッケージにおいて、JVを編成する他社が総括及び案件Bを担当し、弊社コンサルタントAがその他の案件をが担当する場合、コンサルタントAは業務に参加できるのでしょうか。 | JICA管理職であった個人Aが当時関与した案件Bについて、個人Aが評価従事者として参画することはできません。他方で、JVを構成する他社が総括及び案件Bを担当すること、及び、個人Aの所属する社が案件B（コンサルタント個人Aが、JICA管理職として関与した案件）の評価に関与せず、案件Bに関する情報を他社に共有しない体制を構築することをもって、有効なファイアウォールとみなし、原則、個人Aが所属する会社は応札は可能であり、個人Aも他案件の評価業務に参画可能と考えられます。<br><br>なお、上記は一般的な考え方であるため、公示後の発注仕様書の【事後評価における排除条項】に該当すると考えられる方は、必要な情報を提供いただきましたら、利益相反の判断をいたします。 | 2023年5月10日 |
| 2023/6/7  | 23a00108000000<br>23a00109000000<br>23a00110000000<br>23a00111000000<br>23a00112000000 | 全世界2023年度案件別外部事後評価全パッケージ     | 評価部事業評価第一課   | プロポーザル作成ガイドラインによれば、ダイバーシティ枠の活用が認められています。事後評価業務の評価対象外業務従事者の事後評価業務を、ダイバーシティ枠を活用し2名で従事することは可能ですか。                           | 外部事後評価の契約もダイバーシティ枠の活用の対象となります。   | 2023年5月10日 |